

災害時の対応ブック

港南区防災5箇条

- 話し合おう！
家族の連絡どうするの？
備えよう！
最低でも、食料・飲み水3日分
圧死から身を守ろう！
家具の転倒防止と耐震対策
避難時は！
電気・ガスの元栓切って
地震だ！
となり近所に声かけて、
まずは「いっとき避難場所」
トイレパックも忘れずに！

自宅に近い 避難場所は…

◆いっとき避難場所

◆地域防災拠点

◆広域避難場所

◆家族の集合は

大切な連絡先

☎ 保育園

◆ _____

☎ 家族

◆ _____

◆ _____

☎ 遠方の親戚・知人

◆ _____

◆ _____

☎ その他

◆ _____

家族の安否確認の方法

災害伝言ダイヤル

録音：

「171」→「1」→☎番号

再生：

「171」→「2」→☎番号

… 携帯から再生できますが
録音登録は固定電話のみです。
携帯用災害伝言板の利用は
各社によって異なります。

近くの公衆電話は

◆ _____
にあります。

災害時に役立つ豆知識

① 哺乳ビンがない時・入浴できない時

◎ミルク

- 哺乳ビンがなくてもあわてなくて大丈夫です。紙コップやスプーンを使って飲ませてあげましょう。
- ミルクがない場合一時的に砂糖をお水で溶かしたものでしげます。

濃度は100ccの白湯に5gが適当です。
(一時的に脱水と低血糖を防ぐもので栄養価はありません。長期は使用不可)

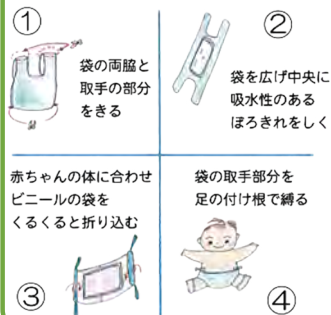
◎入浴

- おしりふきシートなどで体の清潔を保ちましょう。

災害時に役立つ豆知識

② 簡易式オムツの作り方

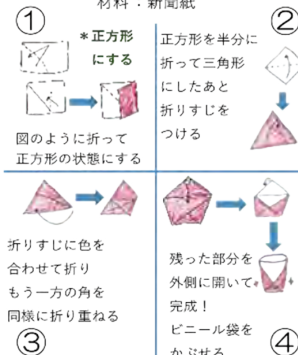
材料：スーパー袋、ほろきれ



災害時に役立つ豆知識

③ 紙食器の作り方

材料：新聞紙



子どもや赤ちゃんのための備蓄品リスト

- 紙おむつ
- トイレパック
- おしりふきシート
- おふいひも
- 水
- 食べ物
- 常備薬
- タオル
- 新聞紙
- ラップ
- ウェットティッシュ
- 携帯カイロ
- 名札
- おもちゃ
- ミルク(スティックシュガー)

【発行】 港南区こども家庭支援課
港南区市立保育園
港南消防署

子どもの事故予防

子どもの事故は保護者が注意することによって、防げるものが多くあります。

子どもの搬送で多いのは急病ケガが多いんだよ！ケガを防ぐ環境を作りましょう！



階段

ひとりで上り下りしないように柵をつけるようにしましょう。



ベランダ

踏み台になるものを置かないようにしましょう。ガラス戸に鍵をかけましょう。



タバコ・洗剤

子どもは何でも口に入れたがります。タバコや洗剤などは手の届かないところに置きましょう。



ソファ

3か月くらいになると乳児は手や足をばたつかせ頭の方へずり上がります。子どもから目を離さないようにしましょう。



布団

口や鼻をふさぐ恐れがあるので、柔らかい布団やまくらなどを使わないようにしましょう。



アイロン・ポット

アイロンやポットやハサミなどは手の届かないところに置きましょう。



困ったときの相談窓口

急な病気やケガで受診の相談をしたいときには・

☎ # 7 1 1 9

(携帯電話・PHS・プッシュ回線の固定電話)

または ☎ 045-222-7119

(すべての電話でご利用いただけます)

横浜市救急相談センター 24時間対応！

緊急時はすぐに119番で救急車を呼びましょう！

発熱時の対応

体温が上がり始めたとき

体は火照っているが手足が冷たいときや体が震えているとき。



布団を増やしたり、靴下をはかせたりして保温しましょう。



水枕の使い方①

冷やすのはおでこか頭。顔や肩は冷やしてはいけません。



体温が上がりきったとき

手足が熱いときや顔が火照って赤くなっているとき。



薄着にしたり、頭を冷やしたりして熱を発散させましょう。



水枕の使い方②

動いてしまう場合は、腕に水枕を乗せて抱っこしましょう。



水分補給(乳児用イオン飲料)も忘れずに!!

熱性けいれんの対応①

①慌てず、子どもを安全で平らな場所に仰向けに寝かせてください。



★吐きそうな場合は吐いたものがどに詰まらないように顔を横に向かせましょう。

②けいれんが始まった時間を確認し、衣類をゆるめましょう。熱を測ってください。



熱性けいれんの対応②

③けいれんの状態を確認しましょう。手や足が、ガクガクしているのか、ギューツとしているのか、体の動きに注意しましょう。



④けいれんが長い場合(5分以上)や繰り返す場合は病院を受診しましょう。

